

梅窓院通信

No. 103
2019/10/01

青山



月はイメージです。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成

五月からスタートした令和元年も残りわずかになりました。来年はオリンピックの年となり、メイン会場をはじめいくつかの会場が近くにある梅窓院ですから、お

寺の周辺が慌ただしさを増すことでしょう。

さて、この九月に他寺の同年代の僧侶との会話の中で、「昔は年寄りといっても元気で、正座や階段も物ともしなかったね」という話になりました。ここでいう昔とは二十年、四十年前のことですから、それこそ今と違って、還暦を迎えたとお年寄りの仲間入りで、古稀や喜寿、ましてや米寿を迎えられたとなると、親戚を集めて盛大にお祝い、という時代でした。

時は過ぎ、少子高齢化時代、今は喪主やお施主さまが古稀や喜寿も珍しくありません。お寺もこうしたことを考慮して、「階客殿と五階客殿の掘り炬燵を椅子席に、墓地にはスロープを作りました。

また、二日間にわたって行う通夜葬儀ですが、一日で行う葬儀式が梅窓院でも増えています。これも高齢化のひとつの表れといえるでしょう。

さて、お気づきの方も多いかと思いますが、私の愚息、真紹まじょうがこの『青山』で原稿を書くようになりました。聞けば自分から進んで書いているとのこと。また、十夜法要では法話の時間を三十分から一時間にしたいとのこと。私は本堂再建や墓地整備に追われましたが、真紹はその本堂で浄土宗の教えを説いてくれる、師僧として父として嬉しく思っております。どうぞ、皆様のご指導を切に願います次第です。

最後に樹木葬の梅林苑の脇にお二人用のロッカー型のお墓を作りました。これも少子高齢化による社会の変化に合わせたものです。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。



十夜法要

十二月十六日(土)

十夜法要

午後三時〜 本堂

法話

法要終了後〜 本堂

講師 中島真紹^{しんじょう}上人



本年の十夜法要以法話をされる中島真紹上人。

十夜によせて

日に日に寒くなる季節になりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、先日東京国立博物館で催されておりました三国志展を拝観して参りました。この時代、中国仏教の黎明期にあたり、展示物の中に仏像・仏具の類はほとんどなかったのですが、王侯貴族のお墓から出土した副葬品などが数多く展示されておりました。当時の人達もまた亡くなった方の死後に思いを馳せていたのでしょう。俑^{ひな}という様々なお供の人形や食に困らないように豚の彫刻の施された玉など沢山の副葬品を拝見しました。三国それぞれの文化や信仰に違いこそあれ、一様に副葬品





昨年の十夜法要の様子。

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては、塔婆の申込はがきに「回向のみ」もご一緒にお申込みができます。
それぞれ冥加料が異なりますのでご注意ください。
また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

塔婆回向 一霊 七千円
回向のみ 一霊 三千円

●お申込み方法

同封はがきにご記入の上、十一月十日必着でお申込み下さい。
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払いいただくか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払いはできません。
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

法話終了後、十夜法要にご参列いただいた方に芋煮のふるまいをさせていただきます。
なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮いただいております。

あかり 三浦明利 特別ライブ

プロフィール

1983年奈良県吉野郡の光明寺に一人娘として生まれる。
ポピュラリティーを追求した仏教音楽の制作・演奏活動を行う。2008年光明寺住職就任。2011年シンガーソングライターとしてCD「ありがとう」でメジャーデビュー。エッセイストとしても活動している。
また、全国各地で、演奏を交えた講演を行っている。
ギターやピアノによる弾き語りとのびやかな歌声で仏教の心を説く。



今年三浦明利さんの特別ライブを法話終了後、観音堂にて開催します！

からは故人の冥福へ願いが込められているように感じました。

さて、私達の浄土宗の教えでは亡き人は、阿弥陀様のお浄土にお生まれの後、どのような暮らしぶりでしょうか。浄土宗が抛り所とする経典の『無量寿経』では、次のように説かれています。お浄土は平らで暑くも寒くもなく、その住人は特に願うことがない限り命が尽きることはなく、食物や衣服は望んだままに現出し、住処は宝玉で美しく装飾されているそうです。

このように極楽に暮らす人は衣食住に困ることはありませんから、安心です。そして何より、あらゆる苦しみがなく、阿弥陀様のお膝元で成仏への道を歩むわけですから、修行するのに最高の環境といえます。

ちなみに、この『無量寿経』という経典はちょうど三国時代に魏国ぎょくでインドの言葉から中国語に訳されたと伝わっています。

間もなく十夜会ですが、この十夜の起源も『無量寿経』にあります。三国時代より伝わる経典と秋の恵みに感謝して、お手を合わせていただければと思います。

(法務部 中島真紹上人)

活動報告・お知らせ

郡上市・港区中学生体験研修

8月7日(水)

郡上市・港区の交流事業の一環として今年も郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、ご僧侶の話を聞いたあと青山家のお墓参りをされました。



岐阜県の郡上八幡花火大会

岐阜県の郡上八幡では徹夜の盆踊り、郡上おどり、八幡城を背景にあげられる花火も有名です。

梅窓院は青山家とのご縁から毎年花火大会に協賛、ご招待いただいておりますが、今年も見事な花火が夜空を飾りました。



お檀家さんに伺いました

令和元年
盂蘭盆会法要にて

「初めての盂蘭盆会」

父が亡くなって初めて盂蘭盆会法要に参加させていただきました。こんなにも多くの方々とともに先祖を御供養していただけましたこと有難く存じます。

また、今年から始まったお齋でも、亡き父を想いながら高齢の母と共に家族でゆっくりとした時間をすごすことができました。建て替え前から梅窓院を知ってมาますが、訪れる度にほっとする空間であるとともに、また新しい時代のニーズに合った寺院だと感じております。これからのイベント活動に期待しております。

発行/梅窓院
発行日/令和元年10月1日
発行人/中島 真成
編集/青山文化村
住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8107
ホームページ/https://www.baisouin.or.jp/
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

「梅窓院受付時間変更のお知らせ」

10月より、受付案内所(お線香・お花の販売も含む)、駐車場、休憩所の利用時間を従来の午前8時～午後9時を下記のように変更しました。

午前8時～午後8時15分

また、当院の都合で変更になることもございますので、ご理解ご了承の程、お願い申し上げます。

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

以前よりInstagramを開設してはいたのですが、梅窓院の認知度をあげるためにもこれからは日々アップしよう……と打ち合わせをして、さあこれから頑張るぞ……と始めてみたもののネタが無いのです。元々個人的にFacebookはやっておりますが、同窓会などの連絡用で何かをアップするということがないのでどうしたものだろう……と人気のInstagramを検索してみると「食べたもの」「行ったところ」「ペット」「趣味のもの」などが多いようです。良いインスタのネタがあったら教えてください。先日墓苑部で行った「エンディング産業展」は相当写真が撮れてよかったです。この産業展はテレビでも紹介されておりましたが骨壺、位牌などの仏具のコンパクト化、IT化が進んでいるようです。そうそう、あとフォロワーの人数がまだ10人くらいなのです。「baisouin_boen」がアカウントですので、ぜひフォローをお願いします。(墓苑部 森)

行事予定

文化講演会

「56年間の料理道 ～夢は実現するものだ～」

講師：神谷昌孝氏(日本料理人)

日程：令和元年10月26日(土)

開場：14時15分

開演：15時(講演90分) 終演：16時30分予定

場所：梅窓院 祖師堂 入場無料先着300名/事前申込制

十夜法要 11月16日(土)

法要/法話/特別ライブ/芋煮会 法要開始 15時～

音楽コンサート

「梅華コンサート

～ソプラノ・フルート・ピアノの饗宴～」

日程：令和元年11月24日(日)

開場：13時15分

開演：14時

終演：15時45分予定

場所：梅窓院 祖師堂

冥加料：大人1,000円・小中高生500円



文化講演会、音楽コンサートに参加ご希望の方は、下記お問い合わせ先へお電話・FAX・Eメールにてお申込み下さい。

お問い合わせ・お申込み 梅窓院 青山文化村

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

TEL:03-3404-8588 FAX:03-3404-8436 E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp